

関西創生のための高速道路ネットワーク の早期整備に関する要望

平成30（2018）年1月

関西高速道路ネットワーク推進協議会

関西経済連合会
大阪商工会議所
神戸商工会議所
奈良商工会議所
関西経済同友会
大 阪 府
兵 庫 県
奈 良 県
大 阪 市
神 戸 市

関西は、古くからアジアのゲートウェイとして、日本と海外の窓口としての役割を果たしてきました。その一方で、日本の三大都市圏の中では、大阪湾岸道路西伸部及び淀川左岸線延伸部は事業着手されたものの、首都圏及び中部圏と比べて環状道路の整備が大きく遅れています。

関西のヒト・モノの円滑な移動を阻害している阪神間や大阪都心部等における慢性的な渋滞を解消し、国際コンテナ戦略港湾「阪神港」の物流機能強化、関西三空港の連携強化をはかるとともに、大規模災害等に備えた強靱な国土づくりを引き続き着実に進めていくためにも、大阪湾岸道路西伸部（大阪湾環状道路を形成）及び淀川左岸線延伸部（大阪都市再生環状道路を形成）等の環状道路のミッシングリンク（未整備区間）を早急に整備することが必要不可欠です。

また、加速度的に進む高速道路の老朽化対策を円滑に進めるためにも、代替道路としての役割を果たす環状道路を十二分に活用していくことが必要です。

昨年の6月には、首都圏に引き続いて関西にも「高速道路を賢く使う」高速道路料金を導入し、両路線に有料道路事業を導入していただきました。一方、国直轄道路事業については、毎年度、確実に予算を措置していただく必要があります。

関西を元気にするために、引き続き、地元の理解や協力を得ながら事業が円滑に進むよう、関西の経済界及び自治体の官民が一体となって取り組みますので、下記の事項について、特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

記

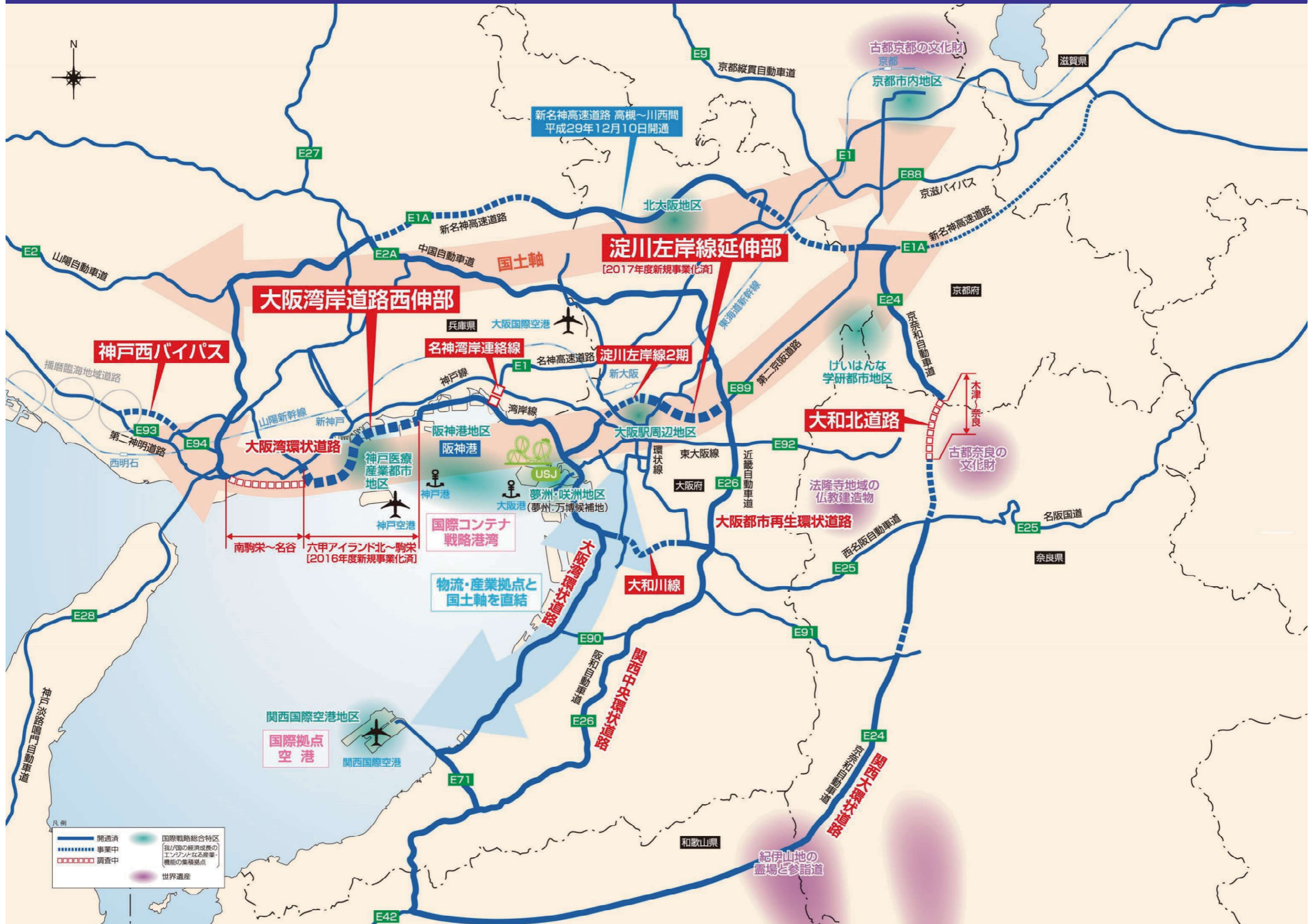
1. 関西圏の環状ネットワーク形成に必要な下記路線について、早期整備を図ること。
神戸西バイパス：平成30年度からの有料道路事業導入
大和北道路：国直轄道路事業及び有料道路事業導入による平成30年度新規事業着手
名神湾岸連絡線：速やかな都市計画手続き着手に向けた詳細ルート、構造の検討促進
2. 広域的なネットワークを形成し、関西のインフラが持つストック効果を最大限に発揮させる重要路線である大阪湾岸道路西伸部、淀川左岸線延伸部と両路線の機能を効果的に発揮させる淀川左岸線2期、大和川線の予算確保を行うこと。
大阪湾岸道路西伸部（六甲アイランド北～駒栄）：国直轄道路事業の予算確保
淀川左岸線延伸部：国直轄道路事業の予算確保
淀川左岸線2期：平成30年度からの工事本格化に向けた街路事業の予算確保
大和川線：平成31年度供用に向けた街路事業の予算確保
3. 道路整備を促進するための財政措置
・大和北道路、淀川左岸線2期、大和川線等が対象となる「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」の規定による補助率等の嵩上げ措置については、平成30年度以降も現行制度を継続すること。
・大都市圏環状道路等の整備加速に係る財政投融資の活用については、将来的な整備も含め関西圏の環状道路等も対象となるよう検討すること。

平成30（2018）年1月16日

関西高速道路ネットワーク推進協議会

関西経済連合会会長	松本	正義
大阪商工会議所会頭	尾崎	裕
神戸商工会議所会頭	家次	恒
奈良商工会議所会頭	植野	康夫
関西経済同友会代表幹事	鈴木	博之
同	黒田	章裕
大阪府知事	松井	一郎
兵庫県知事	井戸	敏三
奈良県知事	荒井	正吾
大阪市長	吉村	洋文
神戸市長	久元	喜造

関西圏の高速道路ネットワーク図



(参考) 関西圏・首都圏・中部圏の環状道路ネットワークの整備状況



環状ネットワークの整備の目処が立っていない！

平成32(2020)年開催の東京オリンピック・パラリンピックまでにさらに整備が進む



中部圏の環状ネットワークはすべて事業着手されている

